

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 自然公園等施設整備推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境エネルギー生活部 環境生活政策課 自然環境活用交流促進係

電話番号：058-272-1111(内2923)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,900 千円 (前年度予算額： 8,900 千円)

＜財源内訳＞

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,900	0	0	0	0	0	0	0	8,900
要求額	8,900	0	0	0	0	0	0	0	8,900
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

自然環境整備交付金（国補助事業）の対象にならない県管理施設の修繕等を行う。

(2) 事業内容

① 県管理施設の現地調査等

県管理施設について、市町村や県民から被災情報を得た場合に、速やかに現地調査を行い、利用者に危険を及ぼさないよう必要な修繕または修繕方法の検討を行う。

② 県管理施設の修繕等

自然公園や自然歩道以外で県独自に整備した県管理施設や、施設の一部修繕、解体撤去は国補助事業の対象にならないため、県単独事業で修繕等を行う。

③ 立入禁止・落石注意等の看板制作、設置

県管理施設における危険箇所への立入禁止、落石注意など、利用者へ緊急に危険を知らせる看板の制作、設置。

④ 県立自然公園の現地指導

県立自然公園の利用促進を図るため、市町村からの要請等に基づき、県立自然公園における施設整備の現地確認及び指導を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が設置した施設の維持管理であり、県による対応が必要。

(4) 類似事業の有無

無（自然公園等施設の一部修繕や解体撤去を対象とする既存事業はない。）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	471	業務旅費
需用費	442	消耗品費（注意看板・補修資材等）
使用料	37	公用車ETC使用料
委託料	2,000	工事設計委託等
工事請負費	5,950	自然公園施設の撤去及び交付金の対象とならない維持工事
合計	8,900	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

各地域の自然公園計画に施設が位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

- ・自然環境整備交付金事業（国補助事業）
国立公園、国定公園、自然歩道の施設整備を行う事業で、施設の一部修繕や解体撤去は対象外。よって他県でも同様に各自治体で対応している。

(3) 後年度の財政負担

継続して県管理施設の破損状況を調査し、危険な状態になっている施設を優先して修繕等を行う。

(4) 事業主体及びその妥当性

県管理施設の修繕等であり、県による対応が必要。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 災害や老朽化で破損した県管理施設の修繕等を行い、利用者の安全性を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

災害や老朽化で破損した県管理施設の修繕等を行う事業であり、指標等の目標を設定することになじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県管理施設である公園施設の維持工事、長距離自然歩道の施設点検などを実施し、自然公園関係施設の安全性の確認、利便性が向上した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県管理施設である公園施設の維持工事、長距離自然歩道の施設点検などを実施し、自然公園関係施設の安全性の確認、利便性が向上した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・県管理施設である公園施設の維持工事、長距離自然歩道の施設点検などを実施し、自然公園関係施設の安全性の確認、利便性が向上した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	自然の中で活動できる登山やトレッキングを楽しむ人が増加傾向にある。利用者の安全性を確保するため、県管理施設の修繕等が必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	災害や老朽化で破損した県管理施設の修繕等を行っており、直接、利用者の安全性や利便性につながるため、効果は高い。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	県管理施設の維持管理を市町村へ委託することにより、破損施設の早期発見、早期修繕などが可能となるなど、事業の効率化が図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 過去に整備した施設の経年劣化が激しく、適宜修繕を実施していく必要がある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 市町村と連携して破損施設を早期発見するとともに、危険な状態になっている施設を優先して修繕等を行い、利用者の安全性を確保する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	

【〇〇課】